

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第48週の発生動向

### □ トピックス

・インフルエンザ（定点把握対象）の第48週（11/28~12/4）の定点当たりの報告数は1.03と、流行期の目安となる1.0を上回りました。昨シーズンと比較して5週早い流行期入りです。詳細後述。  
 ・感染性胃腸炎（定点把握対象）の第48週（11/28~12/4）の定点当たりの報告数は20.8と、流行警報開始基準値(20.0)を上回りました。詳細後述。

### □ 全数報告の感染症（48週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：つつが虫病 9 例。
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、播種性クリプトコックス症 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40 歳代	男	結核性リンパ節炎	左耳下腺腫脹
			50 歳代	男	無症状病原体保有者	—
		延岡	60 歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
			70 歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難、涙嚢
4類	つつが虫病	宮崎市	80 歳代	女	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、倦怠感
			60 歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			60 歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹、全身倦怠感
		都城	60 歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹、全身倦怠感
			80 歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
			80 歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
		日南	80 歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
			50 歳代	女	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			70 歳代	男	—	発熱、刺し口
小林	80 歳代	男	—	頭痛、発熱、発疹		
	60 歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、全身倦怠感、悪寒		
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	80 歳代	女	—	尿路感染症、敗血症 菌種: <i>Enterobacter cloacae</i>
	播種性クリプトコックス症	宮崎市	60 歳代	男	—	頭痛、意識障害、項部硬直

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,204人（定点当たり38.1）で、前週比146%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はなかった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【インフルエンザ】

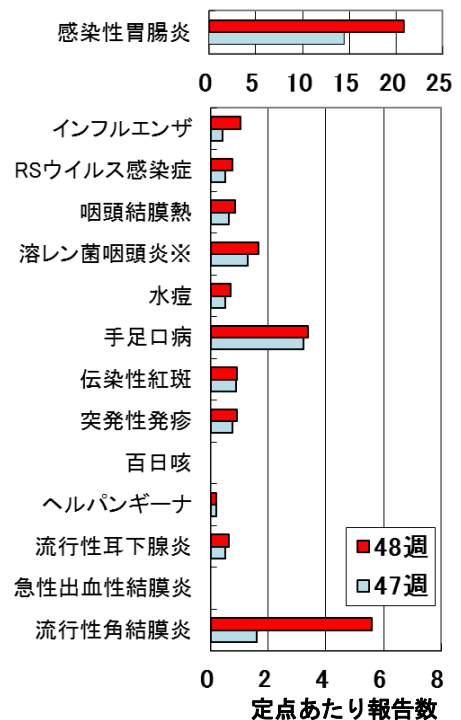
報告数は61人(1.0)で、前週比254%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\* (0.20)の約5.2倍であった。日南(8.0)、中央(2.0)、高千穂(1.0)保健所からの報告が多く、年齢別は5~9歳が全体の約半数を占めた。

##### 【感染性胃腸炎】

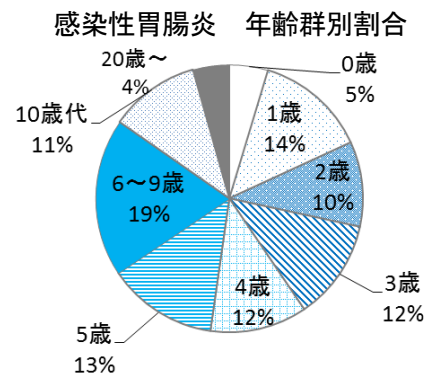
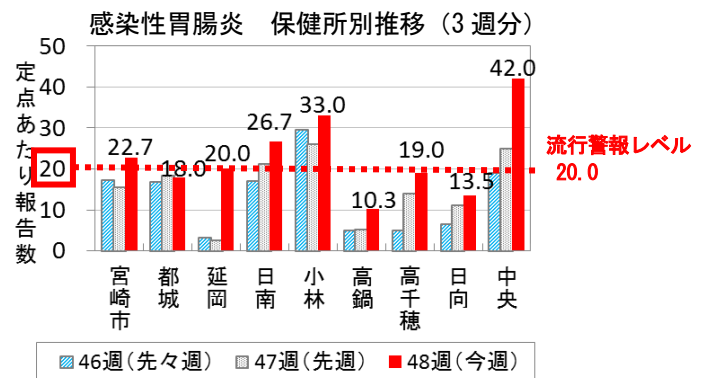
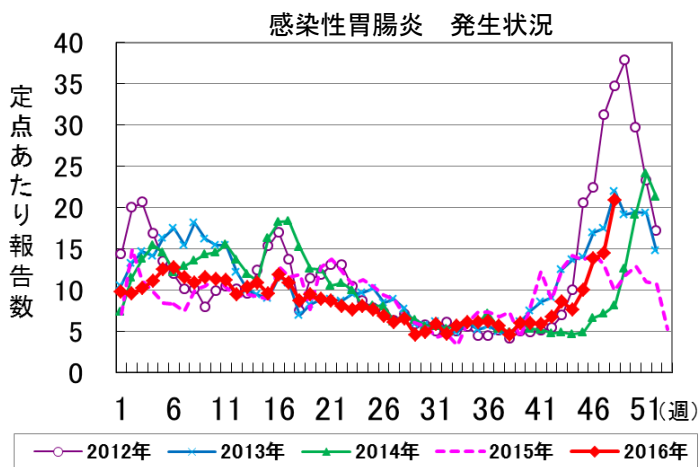
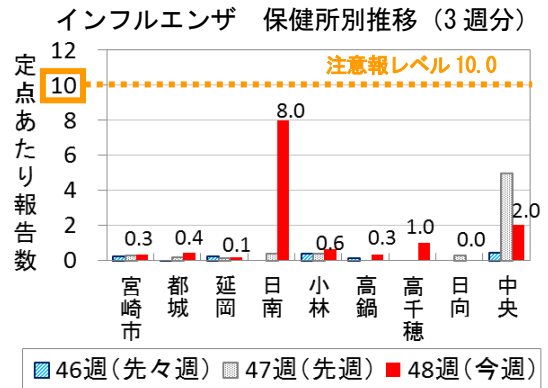
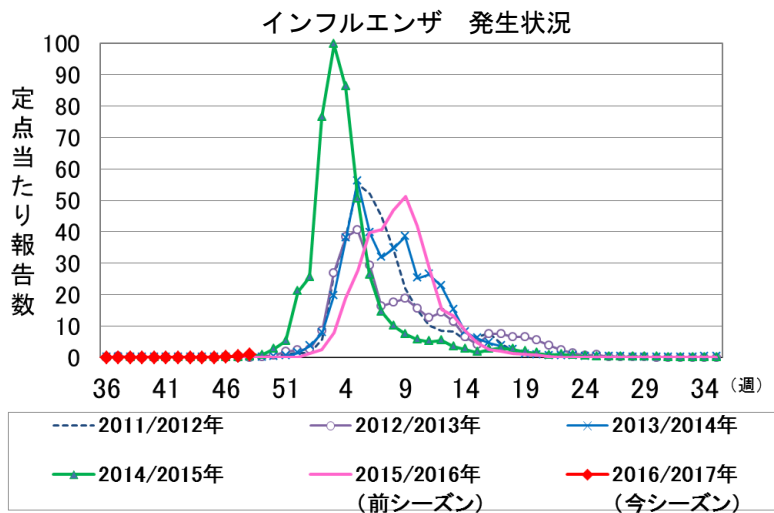
報告数は750人(20.8)で、前週比144%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\* (17.2)の約1.2倍であった。中央(42.0)、小林(33.0)、日南(26.7)保健所からの報告が多く、年齢別は別グラフに示す。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★

- 無菌性髄膜炎：日南保健所から報告があった。10歳代が1例であった。
- マイコプラズマ肺炎：宮崎市(2例)、延岡(1例)保健所から報告があった。0～4歳が1例、5～9歳が2例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	感染性胃腸炎(22.7)、流行性角結膜炎(13.5)
都城	なし
延岡	感染性胃腸炎(20.0)、
日南	感染性胃腸炎(26.7)、手足口病(5.3)
小林	感染性胃腸炎(33.0)、伝染性紅斑(2.3)
高鍋	なし
高千穂	流行性耳下腺炎(4.0)
日向	伝染性紅斑(2.8)
中央	感染性胃腸炎(42.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)
- ・流行性角結膜炎(8.0)

※流行注意報レベル基準値※

- ・流行性耳下腺炎(3.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成28年12月5日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	10歳代	女	2016.11.17	-	便	2016.11.25

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
単純ヘルペスウイルス1型	0～4歳	男	2016.11.01	単純ヘルペス	皮膚病巣	2016.12.05
エコーウイルス9型	0～4歳	男	2016.11.12	エンテロ、39.5℃、鼻水、紅斑	咽頭ぬぐい液	2016.11.28
エコーウイルス9型	0～4歳	女	2016.10.27	不明の発疹症、37.6℃、発疹(丘疹、紅斑)	咽頭ぬぐい液	2016.11.28
エコーウイルス9型	0～4歳	女	2016.11.05	無菌性髄膜炎、39.0℃、髄膜炎	便	2016.12.05
コクサッキーウイルスA16型	0～4歳	男	2016.09.15	手足口病、38.5℃、口内炎	咽頭ぬぐい液	2016.11.25
コクサッキーウイルスA16型	0～4歳	男	2016.10.04	手足口病、発疹	咽頭ぬぐい液	2016.11.25
コクサッキーウイルスA16型	0～4歳	男	2016.10.12	手足口病、上気道炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2016.11.25
コクサッキーウイルスA16型	0～4歳	女	2016.10.17	手足口病、発疹	咽頭ぬぐい液	2016.11.25
コクサッキーウイルスA16型	0～4歳	男	2016.09.23	ヘルペス口内炎、発熱、口内炎	咽頭ぬぐい液	2016.11.25

○幼児1名から単純ヘルペスウイルス1型(HSV-1)が分離された。HSVには2種類の型があり、顔、口唇、眼などに感染するのは主にHSV-1、性器などに感染するのは主に単純ヘルペスウイルス2型(HSV-2)といわれているが、この区別は厳密なものではなく、性器ヘルペスの病変からも、HSV-1が分離されることがある。HSVが起因する重要な疾患としてヘルペス脳炎がある。国立感染症研究所によるとHSV-1あるいはHSV-2の初感染時または再活性化時に発症し、発症年齢(新生児、年長児、成人)によってその病態は異なるということが報告されている。

○乳幼児3名からエコーウイルス9型が分離され、そのうち1名は無菌性髄膜炎であった。2013年にエコーウイルス9型による無菌性髄膜炎の地域流行もあったことから今後の動向に注意が必要である。

○手足口病と診断された幼児4名、ヘルペス口内炎と診断された幼児1名からコクサッキーウイルスA16型が分離された。

🇯🇵 全国 2016 年第 47 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 47 週)

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	240 例			
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	36 例	
4類感染症	E型肝炎	1 例	A型肝炎	2 例	ジカウイルス感染症 2 例
	つつが虫病	34 例	デング熱	3 例	マラリア 1 例
	レジオネラ症	22 例			
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 14 例
	急性脳炎	5 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例	後天性免疫不全症候群	10 例	ジアルジア症 3 例
	侵襲性インフルエンザ球菌感染症	7 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症 43 例
	水痘(入院例)	2 例	梅毒	57 例	破傷風 1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	風しん	2 例	麻しん 2 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例			

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 99%とほぼ横ばいであった。前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと水痘であった。減少した主な疾患はRSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

インフルエンザの報告数は8,843人(1.8)で前週比130%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.42)の約4.3倍であった。沖縄県(9.1)、栃木県(5.8)、福井県(5.4)からの報告が多く、年齢別では9歳以下が全体の約4割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は40,607人(12.9)で前週比98%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(8.2)の約1.6倍であった。宮城県(32.8)、山形県(23.5)、三重県(20.8)からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の約6割を占めた。\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2016年 第48週(11月28日～12月4日)

疾病名		第47週	第48週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	24	61	5	4	1	40	3	2	2		4
	定点あたり	0.41	1.03	0.31	0.40	0.14	8.00	0.60	0.33	1.00	0.00	2.00
RSウイルス 感染症	報告数	18	27	2	7	5	4	1		1	2	5
	定点あたり	0.50	0.75	0.20	1.17	1.25	1.33	0.33	0.00	1.00	0.50	5.00
咽頭結膜熱	報告数	23	31	19	3	4	2		2		1	
	定点あたり	0.64	0.86	1.90	0.50	1.00	0.67	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	47	60	26	3	7	7	2	7		5	3
	定点あたり	1.31	1.67	2.60	0.50	1.75	2.33	0.67	1.75	0.00	1.25	3.00
感染性胃腸炎	報告数	522	750	227	108	80	80	99	41	19	54	42
	定点あたり	14.50	20.83	22.70	18.00	20.00	26.67	33.00	10.25	19.00	13.50	42.00
水痘	報告数	19	25	5	3	5	1	1	1		9	
	定点あたり	0.53	0.69	0.50	0.50	1.25	0.33	0.33	0.25	0.00	2.25	0.00
手足口病	報告数	116	122	34	20	13	16	4	15		17	3
	定点あたり	3.22	3.39	3.40	3.33	3.25	5.33	1.33	3.75	0.00	4.25	3.00
伝染性紅斑	報告数	32	33	12		2	1	7			11	
	定点あたり	0.89	0.92	1.20	0.00	0.50	0.33	2.33	0.00	0.00	2.75	0.00
突発性発しん	報告数	27	33	9	6	5	2	3	3		3	2
	定点あたり	0.75	0.92	0.90	1.00	1.25	0.67	1.00	0.75	0.00	0.75	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	7	7	3		1	2	1				
	定点あたり	0.19	0.19	0.30	0.00	0.25	0.67	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	18	23	6	2	3			4	4	3	1
	定点あたり	0.50	0.64	0.60	0.33	0.75	0.00	0.00	1.00	4.00	0.75	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	28	27	1							
	定点あたり	1.60	5.60	13.50	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1					1				
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	7	3	2		1						
	定点あたり	1.00	0.43	2.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:5、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～48週)

2類感染症	結核	191例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	14例				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	8例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	34例(9)	デング熱	1例
	日本紅斑熱	6例	レジオネラ症	1例		
5類感染症	アメーバ赤痢	13例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	10例(1)
	急性脳炎	10例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	6例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	7例
	水痘(入院例)	3例	梅毒	9例	播種性クリプトコックス症	4例(1)
	破傷風	2例	風しん	1例		

( )内は今週届出分、再掲